

## 「蓬原小学校の熊野神社神舞伝承活動の取組」

### 1 学校名

志布志市立蓬原小学校

### 2 学年・人数

志布志市立蓬原小学校 児童3名 (5年1名, 6年2名)

曾於高校 生徒1名

※ 蓬原熊野神社神舞保存会 10数名

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の場所・日時

場所： 蓬原青少年館 時間：19：00～21：30

練習日：職員は7月から第2第4木曜日

児童は9月から第2第4木曜日

11月23日(土)は会場準備を兼ねて集まり最終確認練習

#### (2) 発表の場所・日時

令和元年11月24日(日) ふつはら祭り (本校体育館)

※ 11月24日に蓬原熊野神社で奉納祭を行っていたが、神社への急な坂への配慮と地域の祭りの活性化を願い場所を変更した。

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

#### (1) 名称 蓬原熊野神社神舞

#### (2) 由来

蓬原熊野神社の神舞は、延宝七年に蟻穴和尚の手により、美濃紙143枚に墨書された神舞書が現存している。古くから国家の大事や災害に際して、本神舞全42段が奉納されてきた。終戦後しばらく途絶えていたものを、昭和46(1971)年に、当時の青年団を中心に、本神舞を故西山太吉氏の指導のもと、全段復活した。昭和54年3月に、鹿児島県無形民俗文化財に指定された。

現在は、熊野神社神舞保存会を中心に、毎年11月23日の例祭日に、その一部が神社に奉納されてきた。

#### (3) 構成等

本神舞は、全42段。一番舞、幣舞、地割、山舞、宇治、矢抜、幣抜、踏剣…と続き、日向系統のものが多く、中には箕舞や田の神舞など南九州独特の舞もある。全体が洗練された格調高い舞で、鹿児島県内でもっともたくさんの種目を伝承している。

### 5 保存会や地域との連携の具体(文化財伝承・活用の取組の工夫した点)

保存会のメンバーが、小学3年生社会科の授業で、ゲストティーチャーとして神舞を披露したり、5・6年生音楽の雅楽の授業で尺八等を披露したりして、積極的に神舞をアピールしている。7月に、小学校・中学校へ希望者を募り、9月から(第2・4木曜日の夜など)、計5回保存会による指導

を行っている。昨年度、蓬原小学校運営協議会にも協力していただいていた保存会会長から「神舞」の伝統を引き継ぐためにも、PTAにも呼びかけたいと要望があった。今年度は学校職員へも参加を募ると4名参加があり、「四人鬼神（よったいきじん）舞」を披露することができた。職員は、初めての経験のため7月から（第2・4木曜日の夜）計10回指導をいただいた。青年層へは、参加児童の保護者に道具や衣装の準備及び動画保存等関わってもらっている。今年の例祭日には、小学生による山舞1番2番3番、高校生による弊抜（ひぬき）、学校職員による四人鬼神舞、保存会による將軍舞を披露した。楽屋の笛・太鼓・すりがねは保存会員が演奏した。新聞で紹介していただいたこともあり、本年度も多くの方々に舞を見ていただくことができた。

## 6 取組の様子



【小学校3年社会科「特色ある地いきと人々の暮らし」の授業】

## 7 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見等

南日本新聞掲載記事

志布志市有明の蓬原熊野神社神舞（県無形民俗文化財）が24日、蓬原小学校体育館で披露される。現在、保存会を中心に練習を重ねており、今年度は同校教諭が「地域の役に立ちたい」と初めて参加。高齢化が進み、担い手不足に悩む保存会は「ありがたい」と喜んでいる。

### 教諭も継承に名乗り

神舞の練習に生花を飾る蓬原小学校の教諭ら  
志布志市の蓬原青少年館

志布志・蓬原小 24日、熊野神社神舞披露

児童は例年参加 負けじと練習に汗

保存会によると、同神社の神舞は江戸初期のことだったと参加の理由を語る。保存会は7月から10月まで練習を重ね、24日は初の披露。教諭が顔を上げて、保存会の指導を受けながら四人鬼神舞を舞った。一面は初めて着けた。衣装が重たいが、当に古いので雲間気がいい。興味を持って参加したい。当口は、子どもと先生の間を繋いでほしい。」と話している。（永野雄一）

熊野神社神舞 蓬原小で奉納

有明

志布志市有明の蓬原小学校で11月24日、蓬原熊野神社神舞（県無形民俗文化財）の奉納があった。児童や高年生のほか、同校教諭らも舞手として参加し、厳かで、時に躍動感あふれる激しい舞を披露した。

同神社の神舞は江戸初期、もしくはそれ以前から伝わり、終戦後、

しほらく途絶えていたが、1971（昭和46）年に復活。保存会が毎年、秋の例祭に合わせて奉納している。

この日は保存会メンバーによる太鼓、すりばね、笛の演奏に合わせて、山舞や四人鬼神舞などが次々と披露された。観衆から大きな拍手が送られた。初めて舞った蓬原小の下戸泰仁教頭は「最後まで不安だったが、終わった後に拍手がもらえてうれしかった。いい経験ができた」と笑顔。小学4年からほぼ毎年参加している曾於高校1年の巴福翔太さんは「自分でも年々上達しているように感じる。満足できる出来だった」と納得顔だった。（永野雄一）